

# 横浜市が進める オープンイノベーションの取組み

横浜市 政策局 政策課 政策支援センター  
関口 昌幸

# オープンイノベーションを進めるための二つのプラットフォーム

## 包括的なプラットフォーム としての自治体

ICTの活用により本市の政策課題を分かりやすく提示し、民間と行政がオープンデータに基づき、アクションを興すためのプラットフォームを構築する。(中期計画2014~2017より)

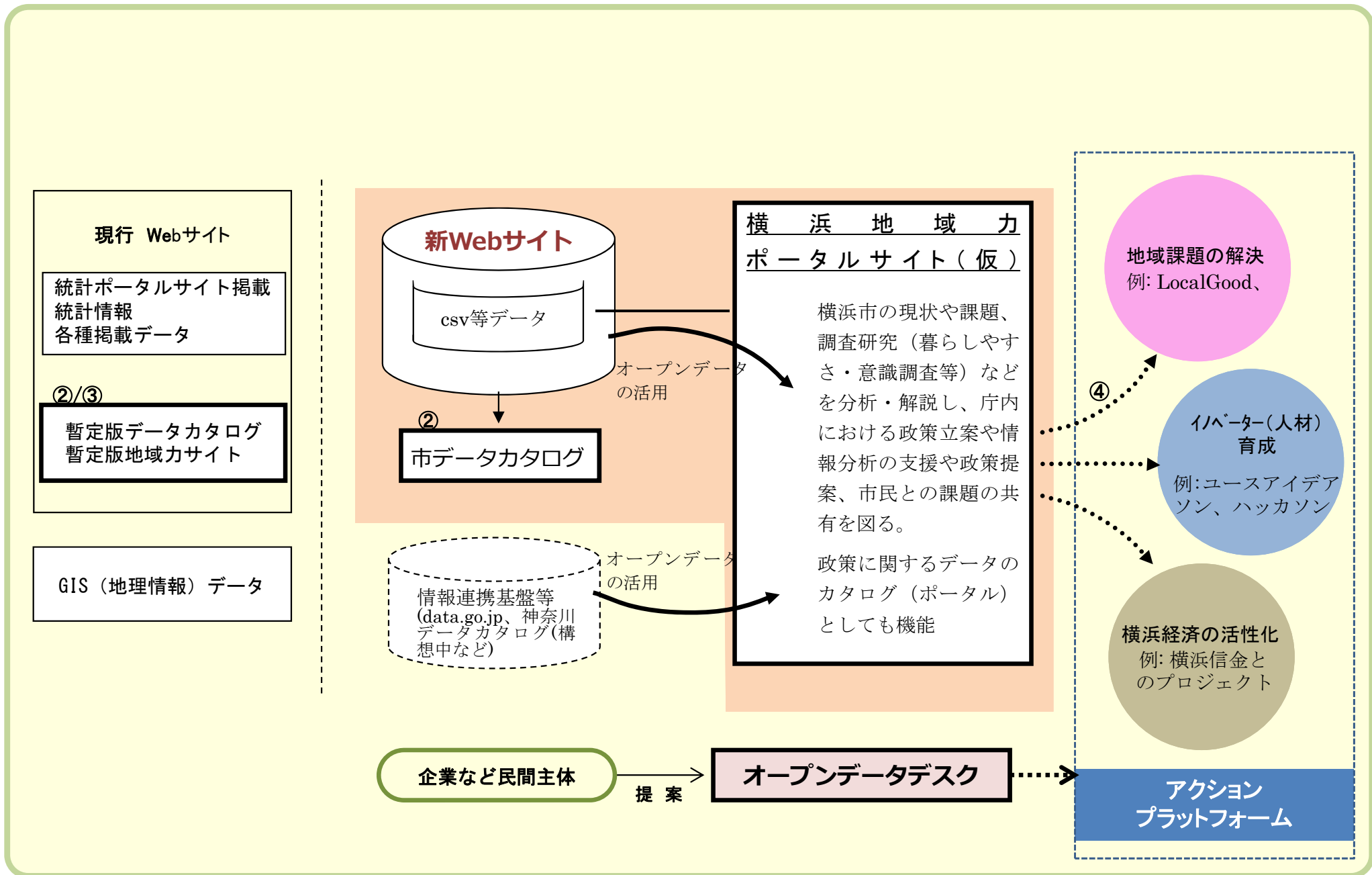
### データ・プラットフォームの構築

- ・行政運営へのデータサイエンスの導入
- ・ビッグデータの官・民の協働による分析
- ・市民ニーズ・地域課題の視える化

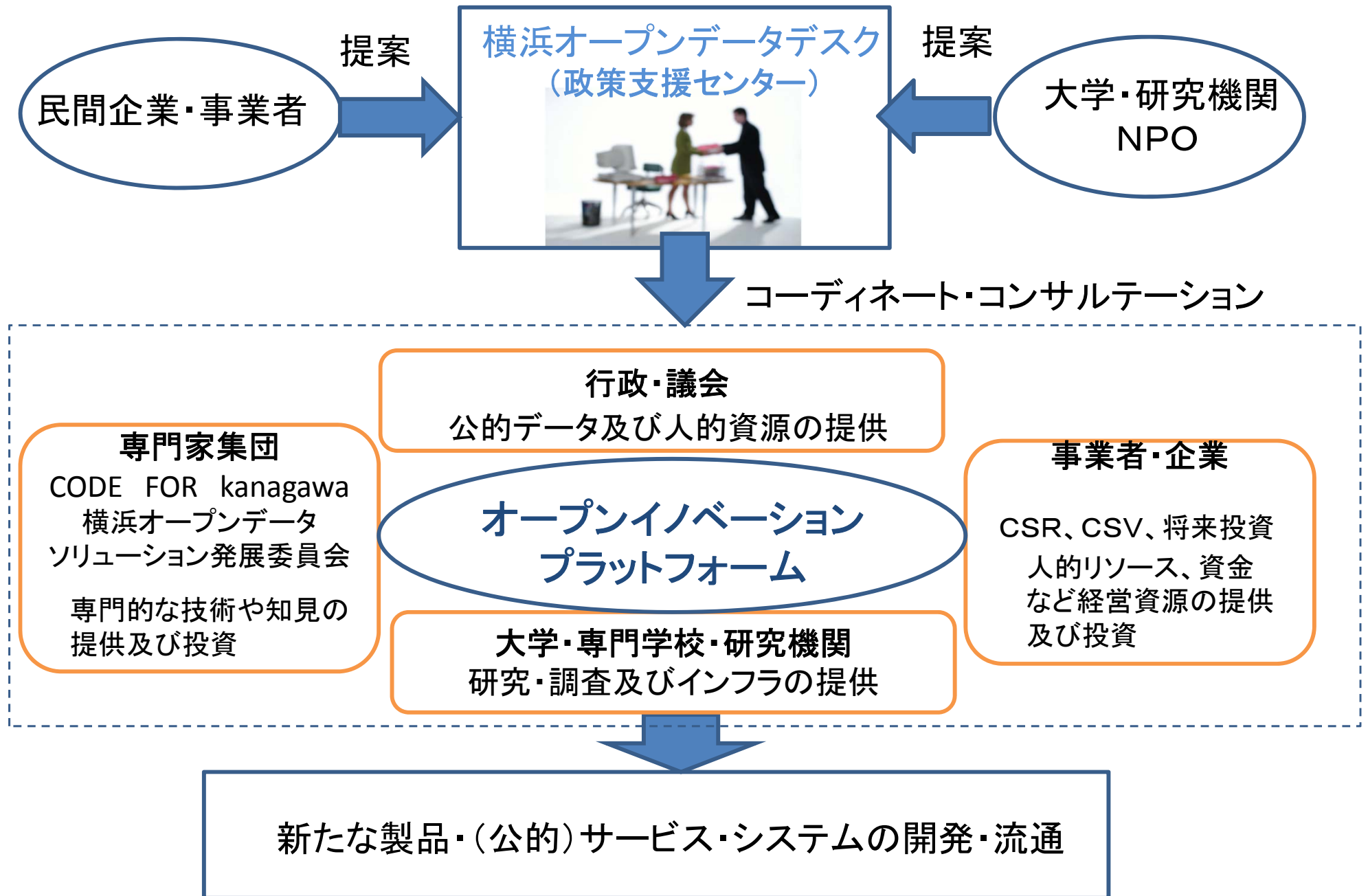
### アクション・プラットフォームの構築

- ・ビジネスの手法を導入した地域課題の解決
- ・課題解決のための多様な主体のマッチング
- ・クラウドファンディングなど新しい地域金融の導入

# 横浜市が構築するデータ・プラットフォームの基盤イメージ



# 横浜経済活性化に向けたオープンイノベーション



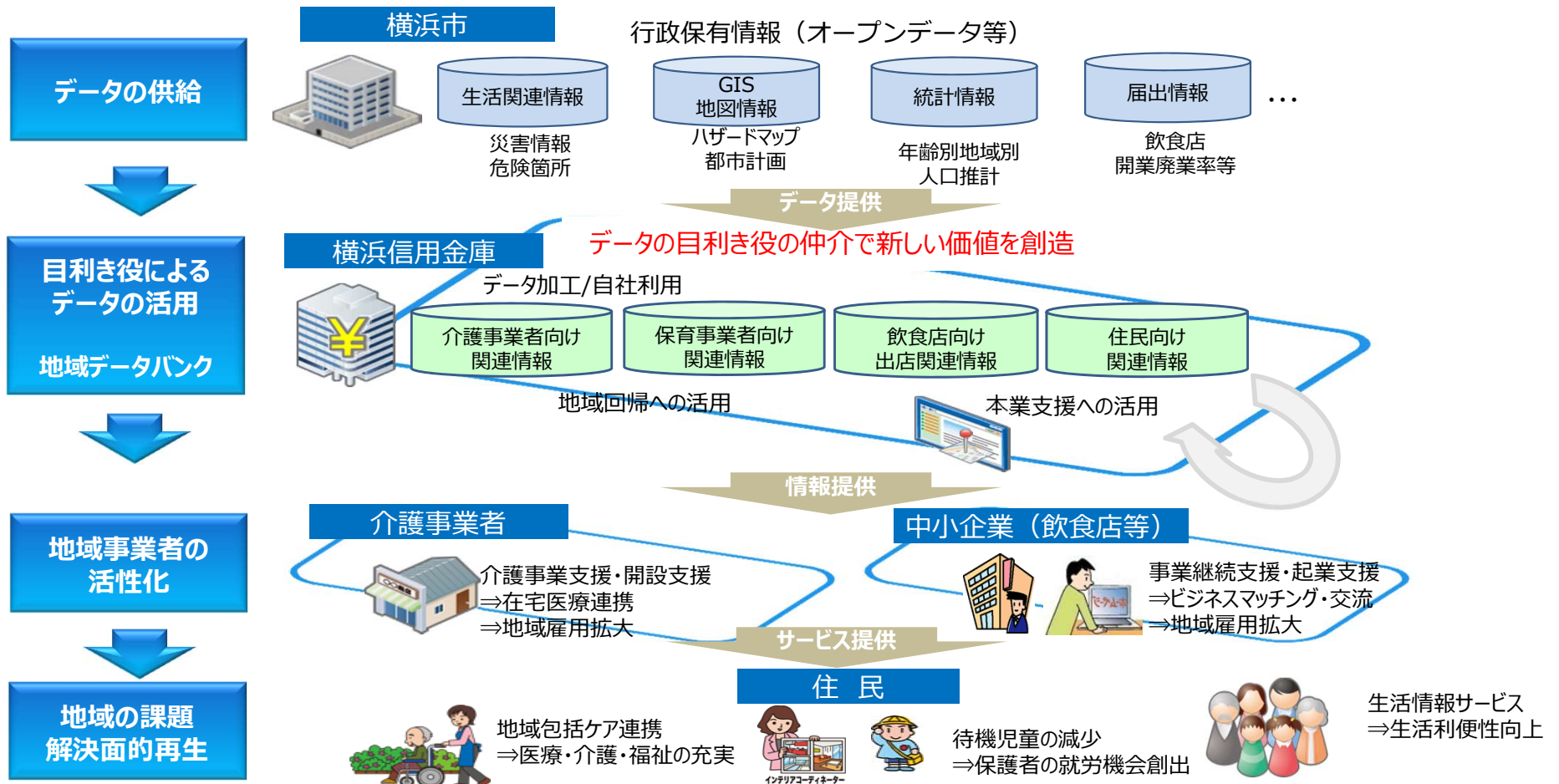
# 行政情報（オープンデータ等）を利活用した地域活性化構想

## ■ 行政と利用者間に情報の目利き役（金融機関）を仲介させる

地域の活性化は地方公共団体と地域金融機関にとって共通の重要課題である。  
行政情報（オープンデータ等）の民間活用という観点で双方が協力することにより、地域の活性化を実現させる。

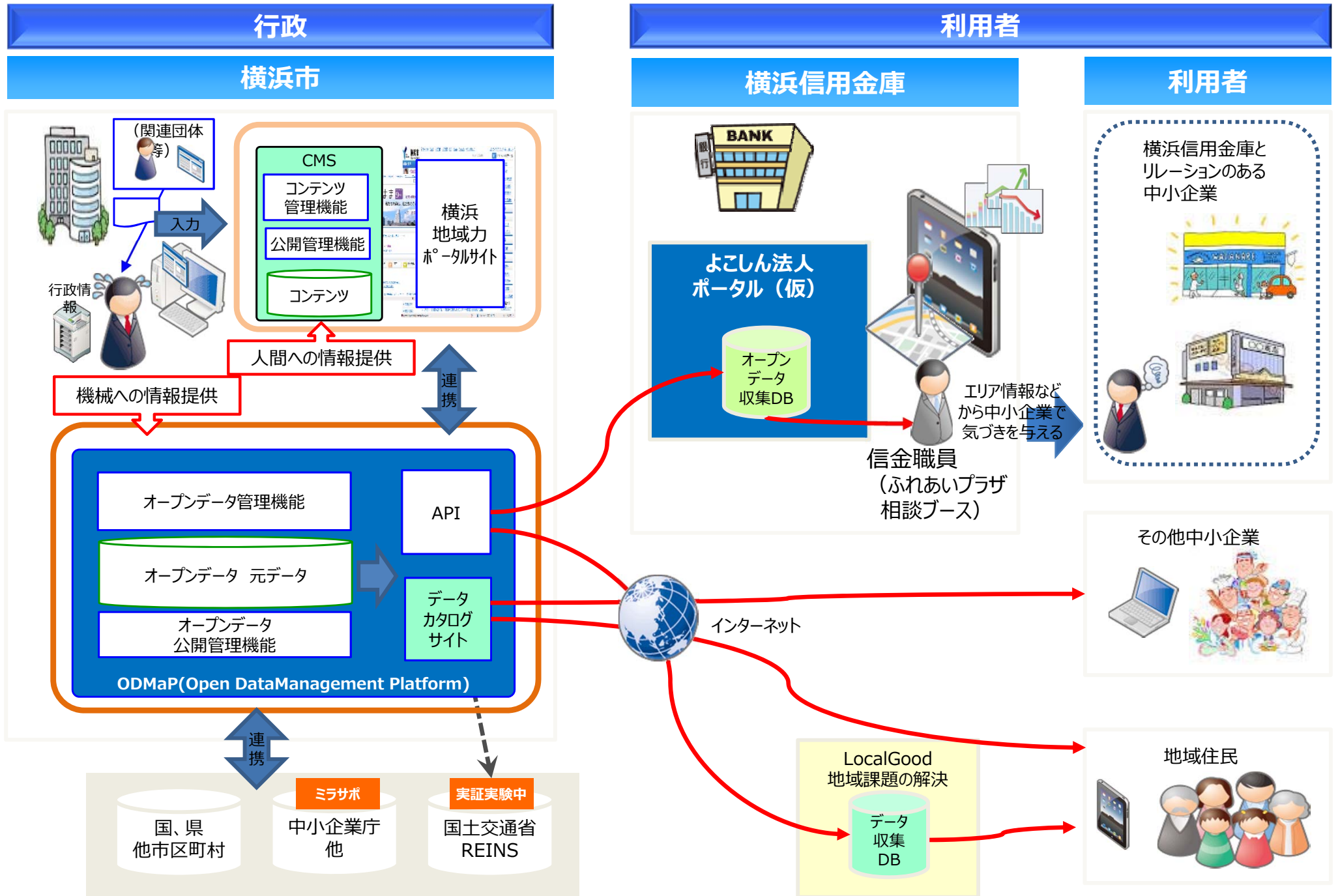
- ・横浜市 : 効率的、継続的な行政情報（オープンデータ等）の提供と市内各種団体との調整
- ・横浜信用金庫 : 行政情報を市内事業者の経営支援やビジネスチャンスの創出等につながる取組みに利活用
- ・日本ユニシス : 地方公共団体と地域金融機関との情報連携モデル構築を支援

【行政情報（オープンデータ等）の利活用イメージ図】



出典:「横浜市・横浜信用金庫・日本ユニシスによるオープンデータ活用研究プロジェクト」資料より抜粋

# 地域活性化構想 システム概念図



# 横浜信用金庫様によるオープンデータ活用のアイデア

## <信用金庫とは>

- 営利企業ではない公共性をもつ
- 信用金庫は地域から離れられない
- 地域の経済と共存共栄の関係  
(そのため、リレーションシップバンキングが生命線)

## リレーションシップバンキング (リレバン) とは

- 金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持する。
- それによって顧客に関する情報を蓄積する。
- その情報を基に貸出等の金融サービスの提供を行う。  
(金融庁 金融審議会による定義)

## <横浜信用金庫様の特徴>

- 中小企業を中心に、地域に根ざした顧客ネットワーク
- 横浜市内の住民・事業者との接点が高い  
(相談プラザ、渉外員、市内店舗展開)

## どのように活用できるか？

- 企業へのリレバン推進 (事業支援)
- 金融機関内部で活用、顧客サービスの向上

## 期待する効果は？

- 中小企業経営者が簡易に情報を活用
- 信金が相談相手となる経営支援効果
- 大都市経済圏周辺の小経済圏の確立  
郊外型の持続可能な、まちづくり

# 地方創生に向けた共創例(介護事業 in 横浜)

